

Festina lente



お楽しみポイント

- ・オーストラリアを堪能しました!
- ・留学生が岩田を語る!
- ・素晴らしい教員研修に向かって!
- ・あしなが学生募金に参加!

オーストラリア修学旅行記

学年主任 中川真司

オーストラリア修学旅行記	1
学年主任 中川真司	2
進路指導部より 主任 後藤慎太郎	3
留学生紹介 APU主任 河野智治	3
9~10月 部活動の結果	4
特活主任 川元威彦	5
カウンセリングルームより 林智一	6
教員研修の報告 教頭 児玉洋司	6
生徒指導部より 指導主任 阿部順三	7
保健室より 養護教諭 野村めぐみ	7
あしなが学生募金 生徒会 朝美淑子	8

10月18日午前6時、IWATAコース66名は、多くの方々に見送られながら学校を出発しました。福岡、シンガポールを経てほぼ24時間、翌朝ブリスベンに到着しました。

まずは、バスで“マウントクーサ”へ。ここでは、市内を一望できる展望台で絶景を楽しみ、クラス集合写真を撮りました。その後、“ローンパインコア保護区”でコアラやカンガルーと触れ合いました。昼食は、ビーフ&チキンのステーキ。なかなかのボリュームでした。ブリスベン博物館を見学し、オーストラリアの生物や文化について学んだ後、ホストファミリーとの待ち合わせ場所に向かいました。

いよいよホストファミリーとの対面。緊張と不安が入り混じった中での自己紹介。準備していた英語がうまく出てこないもどかしさ。でも、ホストファミリーのやさしい雰囲気や言葉で、すぐに打ち解けた生徒がほとんどで、みんな笑顔で車に乗りました。

20日から早速、学校での生活が始まりました。まずは、各学校でwelcomeセレモニーが行われ、現地生徒のお世話役“バ

ディ”の紹介もありました。学校敷地内に鳥居と日本庭園を造って迎えてくれた学校もあるほど、私たちの来豪を心待ちにしてくれていて、とても感動しました。

さて、授業はもちろんほぼオールイングリッシュ、昼食はパディやその友人と一緒に、生活スタイルも日本と全然違うので、最初の方は「全然内容がわから〜ん」「日本に帰りたい〜い」などの言葉も聞かれていましたが、やっぱり生徒達はすごい! どんどん打ち解けて、どんどん挑戦して、どんどん吸収していきました。私たちが学校を訪れる度に、前日より成長している姿を見ることができました。最後には、私たちが訪れても“あ、先生達居たの?”という感じで、嬉しいような寂しいようなでした。

23日の授業最終日は、岩田生からのお礼の出し物として、クラス全員でのダンス“恋するフォーチュンクッキー”“妖怪体操”, 合唱“翼をください”, ドイツ語での独唱などさまざまなパフォーマンスを披露して、各校とも大いに盛り上がりました。修了式の後には、別れが寂しくて涙する生徒もいました。(次ページへつづく)



朝 5 時 00 分に集合!



シンガポールの空港に到着



バーベキュー(ローパイン)



各ホストファミリーとご対面



(つづき)

週末は各ホストファミリーと過ごしました。遊園地、ショッピング、BBQ等、それぞれ思い思いの過ごし方で、良い旅の思い出ができたようでした。

そして、ついにホストファミリーとの別れの時がやってきました。別れを惜しむ涙や素晴らしい出会いに感謝する笑顔、握手をしたり、ハグをしたりして各々バスに乗り込みました。

今回の旅を通して、生徒はひと回りもふた回りも大きく成長しました。保護者の方々、ホストファミリー、受け入れてくれた学校の先生方・生徒、日本人コーディネーター、JTBの方…。多くの方々に支えられた10日間でした。この経験を忘れることなく、今後の生活に活かしていって欲しいと思います。

マウントクローサで街を一望しました。



ローンパインでコアラをだっこ。



滞在するブリスベンの街を観光しました。



ホームステイ先の家族が迎えに来ました。



全校生徒が集まって歓迎セレモニー開催。



授業はもちろん、オーストラリアの文化も学んでいます。

生徒の体験記

1組 江口 慎太郎くん 3組 上野 可奈子さん

『修学旅行の思い出』

4年1組 江口 慎太郎 くん

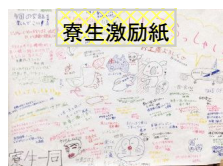
この修学旅行は初めての海外でした。英語を話すのが苦手な僕はとても不安でした。特にファミリーと会う時が一番不安でした。しかし、ファミリーが優しい笑顔で迎えてくれてとてもホッとしました。上手に話ができずにもどかしくしていた僕に

「Nice to meet you. What sports do you like?」と笑顔で話しかけてくれ、少しずつ不安が消え、これから始まる生活の喜びが一気に膨らみました。しかし、伝えたい言葉を英語で表現できない日々は続きました。そんな僕をお父さんとお母さんは受け止めてくれ、話し続けてくれました。僕もできるだけ早く英語をちゃんと聞き取れるように、手伝いをしたり、話しかけたりしました。だから、うまくなったと思います。日本にいると常に時間に追われる毎日を過ごしていますが、オーストラリアでは時間を気にしない、自分にとってとても不思議な経験をしました。夢のような日々はあっという間に過ぎ去りました。いつかまた、この地に来たいと思いました。

『修学旅行を終えて』

4年3組 上野 可奈子 さん

初めての外国。行く前は楽しみではあったけど、不安の方が多くてすごくドキドキしていました。でも、ホストファミリーは私たちを温かく受け入れてくれて、毎日が新しい体験でキラキラした日々でした。最初は英語が全然聞き取れなかったし、あまり伝わりませんでした。でも、だんだん伝わって理解できれば嬉しかったし、よくわからない時に、簡単な英語で言い換えてくれる優しさも嬉しかったです。人生で一度しか会えないかもしれない人たち。海の向こう側に知り合いがいることはとても誇りです。ホストファミリーは私の第二の大切な家族です。もっと英語が話せるようになりたいと思いました。もっと話せるようになって、また海外に行ってみたいです。こんな素敵な体験をさせてくれた両親、ホストファミリーやオーストラリアの小学校のみなさん、先生、JTBの方に心の底から感謝しています。ありがとうございます。



寮生激励紙



ホストファミリーとの対面



書道を披露



体育の授業



すぐに仲良し



調理実習



修了式



ファミリーとのお別れ



夏の対外模試成績概評

進路指導主任 後藤慎太郎

7月上旬に中3～高2が受験したベネッセ総合学力テストの成績結果と、高校3年生の近況などについてご報告いたします。

まず初めて進研模試を受けた中3ですが、難関大学到達ラインであるSゾーンには、ここ5年間の平均では学年のおよそ6%の生徒が位置してきましたが、今回の31回生は11%でした。また、国立大学レベルであるB2以上では5年間の平均は71%ですが、31回生は65%でした。これらのことから、31回生の現状は、超トップ層が増え、中間層が少し少ないことが判ります。ご存知のように本校の中3は、高1と同じ模試を1年早く前倒して受験しています。例年、中3と高1の同じ時期の模試を比べると、一年間で平均して1～2程ゾーンのランクが上がります。高校1年7月のここ5年間の平均では、Sゾーンが24%、国公立レベルに84%の生徒が位置しており、31回生の今後の取組に期待したいと思います。

続いて高1ですが、中3の1月の結果と比べると、Sゾーンの割合が7%から30%へ4倍以上増え、国立大学レベルであるB2以上では87%から94%と増加しています。中3時と比べて順調に学力を伸ばしてきており、ここ5年間でも上位の成績であることが判ります。高1は、これから生徒会活動などでも学校の中心となる立

場です。学習面でも全校を引っ張っていくという自覚をもって、さらに学力を向上させてくれるものと期待しています。

続いて高2ですが、Sゾーンの割合が17%、B2以上では85%と、ここ5年間の中でも高い結果となりました。全国的な傾向として学年が上がると、参加校が絞られて偏差値が下がる傾向にあります。中心となる学年として体育大会や学園祭を成功に導いた29回生です。3学期を高3(受験学年)0学期と位置付け、学習に対する意識をしっかりとって、更に成績を伸ばしていくてくれるものと思っています。

最後に高3ですが、センター試験まで3ヶ月を切り、「受験は団体戦」を合い言葉に、朝学習、タテスト、夜間自習と、日々受験勉強に取り組んでいます。明るく素直で、常に前向きな28回生ですから、残りの3ヶ月で、必ず夢を掴んでくれるものと期待しています。また、そのためにも、高3学年団とともに、進路指導部も全力でサポートしていきたいと思っています。

以上模試などの結果報告でした。12月中旬には、ベネッセの第2回学力推移調査、Z会/河合塾共催の記述指導実力テスト(中1・中2)やベネッセの11月総合学力テスト(中3～高2)の結果が出ます。また、中1から高2は来年1月にも模

試が予定されています。「模試は受けるだけ」「成績は見て一喜一憂するだけ」では模試を受ける甲斐がありません。進研模試を受験した翌日20:00以降から、進研模試デジタルサービスでWEB解説を聞くことができます。早い内にやり直しと復習をすることが成績向上の第一歩です。そして、模試の個人成績が返却される際には、順位や点数、志望校の判定も気になるでしょうが、分野別の出来不出来に注目し、次回の模試では、今回できなかった分野で結果を出せるように取り組んでいくことも、学力向上をもたらしてくれる最良の方法の1つです。是非実践して下さい。

進研模試(ベネッセ)のランク(抜粋)

S1	東京、一橋(法)、難関国立医
S2	京都、一橋(経・商)、大阪(法・経) 九州(法・薬)、大分(医)
S3	大阪(理・工)、九州(文・経・農・歯) 熊本(薬)、福岡(医)
A1	広島(文・法)、九州(理・工)、熊本(法)
A2	広島(理・工)、熊本(文・理・工)
A3	山口(理・農)、長崎(経)、佐賀(農) 鹿児島(法文・水産)、九州工業(工)
B1	北九州市立(地域創生)、大分(経・工)
B2	山口(工)・琉球(工)、駒沢(経)、福岡(商)

留学生のご紹介！～

APUコース主任 河野智治

現在、APUコースは3名の留学生を迎えています。5-4にレベント・オズルくん、アンナ・ハースさん、4-4に孫超凡くんです。

アンナ・ハースさんと孫超凡くんは寮生です。帰省日にはホームステイとなります。ホストファミリーを募集していますので、興味のあるご家庭の方は担任までご連絡お願いいたします。

○孫超凡くん

(留学期間：2015.9月～2016.6月)

みなさん、こんにちは。中国の天津から来ました孫超凡です。趣味はバスケットボールです。バスケ部に入っています。日本語の勉強をするために留学しています。これからの生活、どうぞよろしくお願いします。

○レベント・オズルくん

(留学期間：2015.9月～2016.7月)

私はトルコから来ました。今、18歳です。好きな日本食はうどんです。日本語や

文化などいつもたくさんのことを学んでいます。私の理想は、来年トルコに帰る前に、日本語で話せるようになり、日本の料理を作ることができるようになることです。みなさん、よろしくお願いします。

○アンナ・ハースさん

(留学期間：2015.9月～2016.1月予定)

スペインから留学してきたハース・アンナと申します。音楽が趣味で18歳です。まだ2ヶ月しか経っていませんが、もう既に日本の女子高生の生活に慣れてきた気がします。6年前に日本への憧れが始まった時を振り返ってみると、今ここにいられることがまだ夢のように感じられます。最初に惚れたのは日本語の響きや音でしたが、どんどん日本の文化や思想を学び、日本という国を愛するようになりました。岩田生になってから色々な楽しい体験が出来て本当に嬉しいです。これからも最高に楽しみ思い出をつかって、全力で頑張ってみんなと仲良くしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

↓左から アンナ・ハースさん、レベント・オズルくん、孫超凡くん



学園だより

9~11月部活動の結果報告

特活主任 川元威彦

●高校テニス部

★第7回秋季高等学校シングルス選手権大分支部予選

<男子>

2 R進出: 右田、藤原、衛藤

3 R進出: 岡部

県大会出場: 菅野、大戸

県体以降真摯に練習に取り組む部員も増え、それがゲーム内容や結果に反映されつつあります。予選突破した2名は県大会での健闘を期待しています。(顧問: 川元)

<女子>

2 R進出: 高山、立花、白石、赤嶺、高瀬、生野

3 R進出: 秋満、石尾

酷暑での試合は予想以上に負担を強いたようです。3 Rに進出した2名は「あと1勝」で県大会出場でした。(顧問: 立川)

★第7回秋季高等学校シングルス選手権

菅野: 1 R敗退

大戸: 2 R進出

支部予選を突破した2名が本戦に強い意志で臨み、健闘してくれました。県大会での経験を自信に、学校生活において活かしてほしいと思います。(顧問: 川元)

★高校新人戦

●陸上部

★大分県高等学校新人陸上競技大会

男子100m・200m: 馬ヶ颯吾

男子円盤投: 下郡匠斗

自己ベスト更新も入賞はならず。両選手にとって初めての挑戦でしたが、学ぶことの多い大会でした。(顧問: 上久保)

●卓球部

★大分県高等学校新人大会卓球競技大分支部予選会

石井・門口: 男子個人戦ダブルス2 R進出

今大会をもって高2は引退となります。今後は、大学受験に向けて精一杯がんばってほしいと思います。(顧問: 荒金)

●剣道部

★個人戦 5-3 佐藤建人 1回戦敗退

負けたものの本人も納得する会心の面を打ち込むことができました。今後は培った集中力で進路に向け、覚悟をもって取り組

むことを期待します。(顧問: 阿部順)

●テニス部

★県新人戦

<男子>

1回戦 岩田 0-3 大分西

「団体戦での1勝」を目標に、キャプテンを中心に臨みました。シングルス1で5-7で競り負け、ダブルス1・2も自分たちの力を出し切りましたが、ポイントは奪えず敗退。今大会で多くの高2は引退となり、受験勉強に専念します。明るく意欲的に頑張ってきたこのメンバーなら受験でもよい結果を勝ち取れる! よき後輩の目標に! (顧問: 川元)

<女子>

予選リーグ

岩田 1-2 情報科学 岩田 1-2 別府商業・別府羽室台

高校生活最後の試合に一丸となって臨みました。惜しくも決勝トーナメントに進むことはできませんでしたが、随所によりプレーが見られました。今大会で高2女子部員は引退となります。部活動で培った経験を活かしてそれぞれの道に進んでいってもらいたいと思います。(顧問: 中村)

●バスケットボール部

★県新人戦

<男子>

1回戦 岩田 77-27 安心院

2回戦 岩田 62-59 大分高専(best16)

※3回戦は「英語ディベート大会」と重なったため、残念ながら棄権。

高校2年5人だけの交代がない中、1回戦を完勝、2回戦も激戦を制しました。苦しい状況を何度も迎えながら、声を掛け合ってカバーし、勝利を掴み取りました。諦めずにやりきったの勝利、素晴らしい経験となりました。(顧問: 野田)

<女子>

1回戦 岩田 59-75 別府鶴見丘

修学旅行の関係で全体練習が出来ない中での試合。完全な練習不足&走り負けでしたが、強くあたられても向かっていく姿勢は大きな進歩です。(顧問: 野田)

★中学新人戦

●水泳部

★大分市中学校新人水泳大会

在津樹: 男子50m自由形 2位

男子50mバタフライ 6位

★大分県中学校新人水泳大会

在津樹: 男子50m自由形 2位

男子50mバタフライ 6位

競技時間が近く、疲れがある中最後まで良くがんばっていました。(顧問: 戸畑)

●野球部

★大分市新人戦

岩田 0-7 上野丘

初回に先制されるも落ち着きを取り戻し、緊迫した展開に。中盤以降ミスが出始めたところに相手のヒットも重なり押し切られました。試合経験の少ないチームながら、自主練で培った個々の力を出せた場面もありました。声を掛け合い、切磋琢磨できるチームを目指します。(顧問: 赤木)

●バスケットボール部

★大分市新人戦

<男子>

岩田 38-62 植田東 岩田 11-80 戸次

中26人だけのチームで交代もほぼできないなか、ディフェンスは形になってきています。オフェンスは恐れずボールを追ってほしいと思います。(顧問: 中川佳)

<女子>

岩田 21-94 大分西 岩田 19-64 上野ヶ丘

中2が5名、中1が2名の新チーム。まだまだこれからです。今大会で学んだことを活かして、自分たちで考えて行動できる集団になっていけば、試合の中でもそれが出て来ると思います。(顧問: 野田)

★県新人戦

<男子>

岩田 36-78 中津豊陽

1Qは2点ビハインドでしたが、2Q以降に差をつけられてしまいました。個人の成長がうかがえた試合でした。(顧問: 中川佳)

<女子>

岩田 23-51 今津

2Qまでは接戦でしたが、後半になるとミスの失点が目立ちました。しかし、攻めようという気持ちが強く感じられた試合で、日々の練習を通して「攻め気」を培ってほしいと思います。(顧問: 中川佳)



卓球部

★大分市新人戦

<男子>

団体戦

予選リーグ 岩田 0-3 判田 岩田 1-3 王子

岩田 1-3 原川

学年別個人戦

吉道 (中2の部) : 3 R 進出

中島啓 (中1の部) : 2 R 進出

優勝した判田中戦は試合をさせてもらえず完敗。原川戦はスコアこそ1-3だったが、それぞれの試合が接戦でした。(顧問: 荒金)

★県新人戦

男子個人戦 吉道・荒金 : 2 R 進出

1回戦は序盤に堅さが目立ったものの勝利し、2回戦で敗退。負けはしたものの、積極的な姿勢もみえたので、1月末の選手権大会で成果を出せるよう、指導していきたいと思います。(顧問: 荒金)

●剣道部

★大分市新人戦

<男子>

団体戦

予選リーグ 岩田 2-1 城東 岩田 1-4 植田

岩田 0-3 鶴崎

個人戦: 神志那 県大会出場

初戦は勝利したものの、その後稽古量の差が出ました。これを機に2年生に自覚が芽生えれば、来年が楽しみです。神志那はフレッシュの部での県大会出場になりました。

日頃から声を出して稽古に励んだことが実を結んだと思います。(顧問: 阿部順)

<女子>

個人戦: 宮部 県大会出場

女子が1人しかいない中で宮部が県大会出場を決めました。今回見つけた課題を修正し、県大会まで一生懸命頑張ってもらいたいと思います。(顧問: 阿部優)

★大分県新人戦

<男子>

団体戦

1回戦 岩田 0-5 緑が丘

個人戦

神志那優汰 : 3回戦進出 (ベスト16)

結果を見れば大差ですが、内容はこれまでで一番良いもの。チームワークを重視してつなぐ意識を持てれば、結果もついてきます。個人戦ではフレッシュの部でベスト16。地道に取り組んだ成果です。(顧問: 阿部優)

<女子>

個人戦

宮部葵 : 2回戦進出

1回戦で圧勝し、2回戦で惜しくも敗退。間合いの中で気持ちをもっと強く持つことができれば、さらに上位を目指すことができると思います。(顧問: 阿部優)

●陸上部

★大分市新人戦

100m: 河野信寛・佐藤楓河・後藤昂・寺川万里・東美里・中野遥菜

200m: 鉄山巴那

800m: 安藤莉沙・青木桃子・栗林璃奈

走幅跳: 穴見勇人・熊井稜

砲丸投: 古賀莉果子・猪原瑞姫

男子400mリレー: 佐藤・穴見・熊井・後藤

女子400mリレーA: 佐藤梨乃・高橋まゆ香・中野・大橋佳子

女子400mリレーB: 青木・安藤・鉄山・栗林

古賀選手が砲丸投で5位入賞。自己ベストを出す選手も多く、善戦した大会でした。今後も学業との両立を図りながらトレーニングに努めたいと思います。(顧問: 上久保)

●テニス部

★大分市新人戦

<男子>

団体戦

1回戦: 岩田 2-0 大東B

2回戦: 岩田 2-0 野津原

準決勝: 岩田 2-0 豊府A

決勝: 岩田 2-0 王子A <初優勝>

個人戦シングルス

山口、神田、菅野 : 4 R 進出 (Best32)

大石 : Q F 進出 (ベスト8)

野田 : S F 進出 (第3位)

個人戦ダブルス

麻生・林下 : 2 R 進出

塚本・福島 : Q F 進出 (ベスト8)

鶴岡・清家 : S F 進出 (第3位)

中2主体のチームで臨み、神田キャプテンのもと団体戦での優勝を目標に戦いました。ポイントの時も声をかけ合い、良いプレーを引き出した事が勝因。何より嬉しかったのは、試合以外の場面でチームに成長が見られたことと、応援に回った部員から自然と「おめでとうございます！」の声が上がったことです。中1も先輩の優勝を見るという貴重な経験ができたと思います。(顧問: 立川)

<女子>

個人戦シングルス

藤吉、谷脇 : 2 R 進出

今回、女子は団体戦の出場はありませんでしたが、藤吉新キャプテンの下での始動となりました。初めて試合に出場する生徒も多量中、応援メッセージを作成したり、ルールを確認しながら観戦するなど、意欲的な姿勢がみられました。(顧問: 川元)

★県新人戦

<男子>

団体戦

1回戦 岩田 2-1 青山

2回戦 岩田 2-0 豊府A

準決勝 岩田 2-1 王子A

決勝 岩田 1-2 臼杵西 <準優勝>

市新人戦の勢いで…といきたかったのですが、中間考査をはさんだ練習不足・体調不良者の不安を抱えての出場。1回戦は薄氷の勝利、2・3回戦は雪辱に燃える相手と、選手層が厚い今年のメンバーでなければ勝ち切れなかったと思います。決勝戦も最後まで纏れる激戦。惜しくも敗れましたが、チームとしての意識と個々の自信を高めることが出来た大会でした。(顧問: 立川)

●サッカー部

★大分市新人戦

岩田 0-2 植田南 岩田 0-4 植田

技術的な甘さやメンタル的な要素もあり、練習で意識していることが試合で出来ない状況でした。練習量や経験値では厳しい環境の中で、自分たちがどう工夫して戦うべきなのかを認識できました。(顧問: 野村)

★大分県新人サッカー大会

1回戦 岩田 0-1 長洲

主顧問不在の中、部員は「今日は自分たちでやる」という意識で臨みました。前半はよく動いて声をかけ合い、ベンチの声援もあって0-0。ハーフタイムにプレイを確認して臨んだ後半、疲れが見えた隙をつかれ失点。終了後、自分たちに何ができ、何ができなかったのか確認しました。(顧問: 姫野)

最後になりますが、応援や送迎に来ていただいた保護者の方々、本当にありがとうございました。

今後ともよろしくお願い致します。



学園だより

カウンセリングルームより ～生きがい～

あなたは生きがいを持って生きていますか。難しい問いですが、なかなか生きる意味や生きる目的が持てないという人もいるかもしれませんね。

まずは、あなたの現在の生きがいを測定してみましょう。「PIL」というテストですが、これはフランクルという精神科医の考えをもとに作成されたものです。日本版は岡堂（1993）によります。各項目の当てはまる数字に丸を付けていってください。

1. 私はふだん

1 退屈しきっている	2	3	4 どちらでもない	5	6	7 非常に元気一杯ではきっている
------------	---	---	-----------	---	---	------------------

2. 私にとって生きることは

7 いつもおもしろくてわくわくする	6	5	4 どちらでもない	3	2	1 全くつまらない
-------------------	---	---	-----------	---	---	-----------

3. 生きていくうえで私には

1 何の目標も計画もない	2	3	4 どちらでもない	5	6	7 非常にはっきりした目標や計画がある
--------------	---	---	-----------	---	---	---------------------

4. 私という人間は

1 目的のない全く無意味な存在だ	2	3	4 どちらでもない	5	6	7 目的をもって非常に意味のある存在だ
------------------	---	---	-----------	---	---	---------------------

5. 毎日が

7 いつも新鮮で変化に富んでいる	6	5	4 どちらでもない	3	2	1 全く変わりばえがしない
------------------	---	---	-----------	---	---	---------------

6. もし出来ることなら

1 生まれてこない方がよかつた	2	3	4 どちらでもない	5	6	7 この生き方を何度でも繰り返したい
-----------------	---	---	-----------	---	---	--------------------

7. 定年退職後（老後）、私は

7 前からやりたいと思ってきたことをしたい	6	5	4 どちらでもない	3	2	1 毎日をただ何となく過ごすだろう
-----------------------	---	---	-----------	---	---	-------------------

8. 私は人生の目標の実現に向かって

1 全く何もやっていない	2	3	4 どちらでもない	5	6	7 着々と進んできている
--------------	---	---	-----------	---	---	--------------

9. 私の人生には

1 虚しさと絶望しかない	2	3	4 どちらでもない	5	6	7 わくわくするようなことが一杯ある
--------------	---	---	-----------	---	---	--------------------

10. もし今日死ぬとしたら、私の人生は

7 非常に価値ある人生だったと思う	6	5	4 どちらでもない	3	2	1 全く価値のないものだったと思う
-------------------	---	---	-----------	---	---	-------------------

11. 私の人生について考えると

1 しばしば自分がなぜ生きているのかわからなくなる	2	3	4 どちらでもない	5	6	7 今ここにこうして生きている理由がいつもはっきりしている
---------------------------	---	---	-----------	---	---	-------------------------------

12. 私の生き方から言えば、世の中は

1 どう生きたいのか全くわからない	2	3	4 どちらでもない	5	6	7 非常にしっくりくる
-------------------	---	---	-----------	---	---	-------------

スクールカウンセラー 林 智一

13. 私は

1 無責任な人間である	2	3	4 どちらでもない	5	6	7 責任のある人間である
-------------	---	---	-----------	---	---	--------------

14. どんな生き方を選ぶかということについて

7 遺伝や環境の影響にもかかわらず全く自由な選択ができる	6	5	4 どちらでもない	3	2	1 遺伝や環境に完全に縛られ、全く選択の自由がないと思う
------------------------------	---	---	-----------	---	---	------------------------------

15. 死に対して私は

7 十分に心の準備が出来ており、こわくはない	6	5	4 どちらでもない	3	2	1 心の準備がなく、恐ろしい
------------------------	---	---	-----------	---	---	----------------

16. 私は自殺を

1 迷わずとして本気で考えたことがある	2	3	4 どちらでもない	5	6	7 本気で考えたことはない
---------------------	---	---	-----------	---	---	---------------

17. 私には人生の意義、目的、使命を見出す能力が

7 十分にある	6	5	4 どちらでもない	3	2	1 ほとんどないと思う
---------	---	---	-----------	---	---	-------------

18. 私の人生は

7 自分の方で十分やっていける	6	5	4 どちらでもない	3	2	1 全く私の力の及ばない外部の力で動かされている
-----------------	---	---	-----------	---	---	--------------------------

19. 毎日の生活（仕事や勉強など）に私は

7 大きな喜びを見出し、また満足している	6	5	4 どちらでもない	3	2	1 非常に苦痛を感じまた退屈している
----------------------	---	---	-----------	---	---	--------------------

20. 私は人生に

1 なんの使命も目的も見出せない	2	3	4 どちらでもない	5	6	7 はっきりとした使命と目的を見出している
------------------	---	---	-----------	---	---	-----------------------

丸を付けた数字の合計点を出してください。合計点が出たら、次に示した判定表で自分に当てはまる年齢段階を選び、合計点が「生きがい度」のどの水準(低・中・高)に当てはまるかをご覧ください。中学生のかたは、15～24歳を参考に見てください。

さらに生きがいについて考えてみたいかたや、生きがい度が低かったから、生きがいを高めるような生き方を知りたいというかたには、フランクルの『生きがい喪失の悩み』や神谷美栄子の『生きがいについて』をお薦めします。

年齢	点数	20～79	80～89	90～109	110～119	120～129	130～140
15～24	低	中	中	高	高	高	高
25～34	低	中	中	高	高	高	高
35～44	低	低	中	中	高	高	高
45～54	低	低	中	中	高	高	高
55～64	低	低	中	中	高	高	高
65～74	低	中	中	中	高	高	高
75以上	低	中	中	中	中	中	高

教員研修の報告～満足度向上へ～

教頭 児玉 洋司

No.	項目	そう思う←普通→思わない				
		5	4	3	2	1
(1)	お子さんの岩田での学校生活は充実していますか。	52%	30%	14%	2%	1%
(2)	教育活動について、情報伝達が適切に行われていますか。	31%	30%	33%	3%	3%
(3)	生徒は進んで学習活動に取り組んでいると思いますか。	25%	34%	26%	10%	6%
(4)	部活動は、学習との両立を配慮していますか。	37%	31%	26%	3%	3%
(5)	進路指導は、適切にサポートされていると思いますか。	19%	37%	33%	7%	3%
(6)	進学実績は、満足するものであると思いますか。	15%	29%	35%	9%	12%
(7)	生徒の髪型や服装に好感が持てると思いますか。	35%	36%	25%	4%	0%
(8)	生徒は、挨拶がよくでき、態度もよいと思いますか。	31%	42%	23%	3%	1%
(9)	施設・設備は、全般的に満足していますか。	23%	37%	30%	9%	1%
(10)	面談や家庭訪問を通じて、親身に対応していますか。	40%	32%	24%	1%	2%

1学期に実施した「学校評価アンケート」の集計結果についてお知らせします。全集計数は273名(48%)でした。ご協力ありがとうございました。※参考:昨年度は310名(53.4%)で、目標回収率は6割です。

この結果をもとに、全教員を対象とした研修を8月19日(水)に行いました。「満足度の顕著な向上」に関して、アンケートや面談等の内容から挙げた問題点を全員で共有し、改善に向け討議を行いました。

「学校の常識は社会の非常識」という認識を他人事と捉えず、真摯な姿勢で取り組みます。そして、高度なプロ意識と日々の努力を糧に、更なる授業力向上に努めます。冬期休業中には教科科目別の研修を予定しています。これは、大学入試問題の解法や解説を多角的に討議していく研修です。

～質問力を高める環境づくり～

- 授業担当者以外でも積極的にどうぞ。例えば、数学では9人の先生が対応。質問・相談はもちろん、添削もOK。授業担当者に気を使う必要はご無用。
- 私たちは、どの学年の生徒が来ても誠実に応えることを当然と考えます。
- 学年の連絡・面談で助言しています。



生徒指導部より

生徒指導主任 阿部順三

最近、自転車と自動車の出会い頭での接触事故が数件起こっております。ご家庭でも事故に遭わないようにするにはどうすればいいか、車から見た自転車について、お子様と確認お願いいたします。また青少年補導員連絡協議会より交通マナーについての指摘がありましたので、併せてご指導ください。

＊携帯電話・イヤホン使用禁止

＊歩道や狭い道路での並進

＊車道の右側の路肩・路側帯の通行

本校の自転車通学許可に関する規則を掲載します。

自転車通学の許可について

- ①学校より1km以内の者には自転車通学を許可しない。
- ②交通規則を守る
 - 守らない場合、道路交通法・道路交通法施行令・大分県道路交通法施行細則などによって処罰の対象となります。
 - ・信号無視をしない(5万円以下の罰金)。
 - ・左側通行をする。
 - ・二人乗りをしない(2万円以下の罰金)。
 - ・並進通行をしない(2万円以下の罰金)。
 - ・夜間の無灯火運転をしない(5万円以下の罰金)。

- ・傘差し運転をしない(5万円以下の罰金)。
 - ・スピードを出しすぎない。
 - ・点字ブロックの上に駐輪しない。
 - ・一時停止違反をしない(踏切での一時停止違反の場合は5万円以下の罰金)。
 - ・携帯電話の使用・操作の禁止(5万円以下の罰金)。
 - ・ヘッドホン(イヤホン)での音楽等聴取の禁止(5万円以下の罰金)。
 - ③自転車整備をおこなう
 - ・防犯登録をする。
 - ・ライトがつくようにする
 - ・ブレーキがきくようにする
 - ・ステッカーは、後部泥よけの一番下に貼る(泥よけの無い自転車は許可しない)。
 - ④指定された自転車置き場に駐輪し、施錠する。(2ロックを徹底すること)
 - ⑤許可された自転車を変更する場合は、直ちに自転車許可を再申請すること。(自転車通学許可は、生徒および自転車に出される許可である)。
 - ⑥職員自動車出口からの自転車の出入りを禁じる(正門より出入りすること)。
- ※ステッカーが貼られていない自転車は盗難車とみなし、警察に照会するために

施錠し、保管します。

自転車を購入するにあたって

- ・泥よけのあるものを購入する。
- ・荷台のあるものが望ましい。ハンドルのカゴに重い荷物をのせると、ハンドルが重くなり、危険です。
- ・TSマーク自転車安全整備店で、点検・整備を受けて貼ってもらったTSマークには、賠償責任保険と傷害保険がセットになっているので、もしもの時に安心です。(1年間有効)

事故にあったとき

- I. その場で次のことを確認する
 - ・相手の名前や連絡先・車のナンバー・車種や色
 - ・事故をおこした時は、すぐに警察に連絡し、誠実に対応する。
 - II. 学校についたら、担任の先生と、自転車係の先生に連絡する
 - ・「事故報告書」を生徒指導部に提出する。
- ◎以上の規則などが遵守できない場合は許可を取り消します。

ほけんしつから

世界エイズデーポスターを作成しました!!

5年生の保健委員・寮生有志メンバーで世界エイズデーのポスターを作成しました。

ひとりひとりの意識・思いやりある行動でエイズ(HIV感染者)を減らすことができたという想いを込めて、ハートの地球を切り絵で作成しました。作成に関わった皆さん、お疲れ様でした。作成したポスターは、11月18日(水)～12月2日(水)ホルトホール大分(1階エントランス)に掲示されますので、お時間ある方は行かれてみてください。

養護教諭 野村めぐみ



長かった2学期も残り後わずかです。…ということは期末テストが近づいてきました。急に冷え込みはじめたので生徒の皆さん、体調管理を心がけ試験勉強がんばって下さい。

修学旅行スナップ集



一休み時間の一コマ



着物の着付け披露



全員での合唱



一週間ぶりの再会

第91回あしなが育英募金活動

生徒会担当 朝美 淑子

10月25日(日)、本校の中学2年から高校2年生まで、第91回あしなが学生募金活動に参加しました。場所は、トキハ前周辺・フォーラス前・ウイング前・JR大分駅南口・北口などに分かれて活動しました。

生徒たちは一生懸命大きな声と笑顔で、朝10時～夕方6時までの長い時間、募金活動に励みました。

本校の参加者は、中学生が36名(2年生と3年生)、高校生が34名(高校1年生APUコースと2年生)、合計で69名でした。

今回集まった募金は、病気・災害等によって親を亡くした子どもたちや親が重度の障害を負って働けなくなった家庭の子どもたちへの高校・大学進学のための奨学金として全額が使われます。

以下は、参加した生徒の感想です。

●中学2年生からの感想

「初めての参加で、8時間という長い時間は長いと思ったけど、ビラ配りをしていたら、あっという間でした。」(女子)

「市民の方がみんなやさしくて、声をかけて下さるので、嬉しかったです。外国人に『これは何?』と聞かれ、もっと英語も使えるようになりたいと思いました。」(女子) 「お金の大切さを改めて考える機会になりました。」(男子)

●中学3年生からの感想

「私は3回目の参加になりますが、将来の夢である看護師になるためにも人の役に立ちたいと思い、参加しました。回を増すごとにきちんと声が出るようになりました。」(女子) 「達成感を感じました。これからたくさんのボランティア行事に参

加していきたくて改めて感じました。」

(男子) 「今、学校に通い、したいことをしている自由な生活を改めて振り返って、親に感謝しようと思いました。」(女子)

●4年生感想

「今回初めて参加してみて、感じたことは3つあります。一つはお金の大切さです。二つ目は感謝の気持ちの大切さです。三つ目は、たくさんの方に、あしなが募金について知って頂いたことが嬉しかったということです。」(女子) 「やさしく接してくれた、先生方や大学生、先輩や後輩に感謝の気持ちでいっぱいです。」(女子)

●5年生感想

「今回で6回目の参加でした。中学の時からずっとやってきましたが、僕たちができることは、このような募金活動やボランティアに参加することしかないの、一生懸命がんばりました。」(男子) 「私たちが思っているよりも、ずっと多くの『遺児』がいることを知りました。一緒に活動をしてくれた学生さんの中にも、遺児の方が数名いました。自分の置かれた環境は、あって当然のものではない、ということに身にしみて感じました。」(女子) 「今回は最高学年という立場で参加をしたので、後輩のお手本とならなければと、気を引き締めてがんばりました。」(女子)。

生徒の感想は充実したものが多く、岩田中学校・高等学校が一丸となって頑張っている姿が多く書かれていました。最後になりましたが、今回の募金活動に対し、保護者の方のご協力、そして地域社会の方々の優しいお心遣いに感謝いたしたいと思いません。

<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck!

能力の差は小さいが
努力の差は大きい

脚力尽くる時、山更に好し。
輝ける未来へ、全力でサポートします!



November 2015 edition

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校